

様式8 機能要件一覧

項目	No.	要求機能	要求区分		備考	対応可否 (対応可能：○、 条件付き対応可能：△ 対応不可能×)	条件 ※対応可否が△の場合は記入すること
			必須	任意			
1. 窓口受付業務	1	利用者情報を管理（登録・修正・削除・照合）ができること。	○				
	2	登録時は、利用者番号を自動附番すること。	○				
	3	幹旋情報を管理（登録・修正・削除・照合）ができること。	○				
	4	登録時は、幹旋番号を自動附番すること。	○		受付番号と幹旋番号は同一のもので構わない。ただし、既存の決定番号が格納できる項目の準備は必要		
	5	旧幹旋番号がある場合は各種帳票には旧幹旋番号を優先して出力すること		○			
	6	利用者番号、幹旋番号の検索照合が可能であること。	○				
	7	利用者情報の登録・修正が可能であること。	○				
	8	予定返済期間年月、予定繰上置き期間および返済開始月が入力できること。	○				
	9	利用者の幹旋状況や現在の返済状況の照合ができること。	○				
	10	複合条件による絞り込み検索ができること。	○		利用者名、融資制度、指定金融機関、資金使途、可否区分など		
	11	利用者融資について一覧を貸付金額、貸付日等の基本情報とともに表示すること。	○				
	12	利用者の融資一覧から対象融資の詳細を確認できること。	○				
	13	該当帳票を印刷・再発行ができること。	○		No.3 越谷市中小企業資金融資依頼書 No.4 越谷市中小企業資金融資依頼決定通知書 No.5 越谷市中小企業資金実行報告書 ※越谷市中小企業資金融資条例および施行規則を参照		
	14	該当一覧表が帳票またはCSV形式等で出力できること	○		No.6 償還表		
	15	該当一覧表が帳票またはCSV形式等で出力できること	○		No.1 受付一覧表 No.2 審査結果一覧表 ※レイアウトは契約後に別途協議するものとする		
2. 幹旋結果入力業務	16	指定金融機関の報告書をもとに、幹旋結果の融資年月日、据置月数、割賦回数、返済開始日、返済期間などの入力を行うことができること。	○				
	17	幹旋結果の可否区分と理由を入力できること。	○				
	18	入力した内容に不整合がある場合はエラー表示し、登録できないよう制御すること。	○				
	19	利子前取り、利子後取りの管理ができること。	○				
	20	償還日を約定期日、また営業日ではない場合は翌営業日、前営業日として捉え、計算できること	○		終回償還日は除く		
	21	幹旋結果の償還情報および利子助成額を一括作成できこと。	○		見込みも含む		
	22	終回償還日だけは営業日を加味せず、対象期間として扱えること。	○				
23	融資年月日から終回償還日までの償還情報および利子助成額を帳票またはCSV形式等で出力できること	○					
3. 償還状況入力業務	24	償還情報の管理（登録・修正・削除・照合）ができること。	○				
	25	償還情報を変更した場合、再計算後に一括作成できること	○				
	26	繰上償還、条件変更、代位弁済、内入れ、滞納など償還状況データの入力・取消ができること。	○				
	27	指定された年度で利子助成の対象者を抽出することができる	○		条件は越谷市中小企業資金融資条例および施行規則を参照すること		
	28	抽出された利子助成の対象者検索時に複合条件による指定ができること。	○		該当年度、融資制度、指定金融機関・支店、利用者など		
	29	利子助成の対象者一覧には指定金融機関、支店名、融資制度、貸付金額、計算利子額、利子助成額などを表示できること。	○				
	30	利子助成の対象者を選択すると詳細情報を表示すること。	○		指定金融機関、融資制度、利子助成対象期間、利用者名、所在地、代表者名、幹旋番号、終回償還年月日、利子助成終了年月日、貸付年月日、返済期間、貸付残高、利子助成額などを管理、画面上に表示すること。		
	31	指定された年度で利子助成額の一括計算ができること。	○				
	32	検索時の複合条件で該当帳票を印刷できること。	○		No.7 利子助成対象者一覧表 ※レイアウトは契約後に協議するものとする		
	33	指定された年度で該当帳票を一括印刷できること。	○		No.8 利子助成申請書 ※越谷市中小企業資金融資条例および施行規則を参照		
4. 利子助成	34	該当帳票は年度かつ融資単位で再発行できること。	○		No.8 利子助成申請書 ※越谷市中小企業資金融資条例および施行規則を参照		
	35	利子助成の申請状況を管理できること。	○				
	36	融資単位に口座情報（指定金融機関、口座種別、口座番号、口座名義人、フリガナなど）を保有できること。	○				
	37	振込先口座情報は指定金融機関とは別に管理できること。	○				
	38	申請があった利用者に対する利子助成額の振込データを作成できること。	○		市フォーマットに準ずること		
	39	利子助成の利率変更した際は指定した時期から新たな利率で利子助成額の計算が行えること。	○				
	40	計算利子額の調整額が入力でき、確定利子額に基づき、利子助成額を再計算できること。	○				
	41	該当一覧表が帳票またはCSV形式等で出力できること	○		No.11 振込明細書		
5. 統計処理業務	42	該当一覧表が帳票またはCSV形式等で出力できること	○		No.9 利子助成集計表 No.10 利子助成申請者及び利子助成額 No.12 金融機関別融資残高表 No.13 融資残高表 No.14 月次融資残高表 No.15 金融機関別融資残高表 No.16 融資実行集計表 No.17 金融機関別実行表 No.18 資金使途別実行表 No.19 資金申込・決定状況 ※レイアウトは契約後に協議するものとする		

様式8 機能要件一覧

項目	No.	要求機能	要求区分		備考	対応可否 (対応可能：○、 条件付き対応可能：△ 対応不可能×)	条件 ※対応可否が△の場合は記入すること
			必須	任意			
6. システム保守業務	43	融資制度情報の管理（登録・修正・削除・照合）ができること。	○				
	44	融資制度情報がCSVまたは同等の形式で出力できること。または保守費用の範囲内で抽出できること。	○				
	45	融資制度情報の追加に伴い、帳票等に変更が発生する場合は、保守費用内で対応できること。		○	新たに追加する融資制度とは既存の制度から資金使途（運転・設備）毎に融資限度額、融資利率、利子助成率、融資期間が変更となる場合を想定すること		
	46	指定金融機関情報の管理（登録・修正・削除・照合）ができること。	○				
	47	指定金融機関情報がCSVまたは同等の形式で出力できること。または保守費用の範囲内で抽出できること。	○				
	48	振込先口座情報は管理（登録・修正・削除・照合）ができること。	○		全振替コードで設定できること。 初回セットアップを行うこと。 ※本市から金融機関マスタ等の情報提供は行わない。		
	49	振込先口座情報登録の際に銀行名等で検索ができること。		○	銀行名、銀行カナ名、支店名、支店カナ名など		
	50	振込先口座情報がCSVまたは同等の形式で出力できること。または保守費用の範囲内で抽出できること。	○				
	51	システムで使用する各種コードの管理（登録・修正・削除・照合）ができること。	○				
	52	システムで使用する各種コードCSVまたは同等の形式で出力できること、または保守費用の範囲内で抽出できること。	○				
	53	市内住所登録の際に郵便番号の一覧表示し、住所等で検索ができること。	○				
	54	市内住所の変更があった場合は保守費用の中で対応すること	○				
	55	地番変更などに伴う、市内住所の一括変更ができること、または保守運用費の範囲内で対応が可能であること。		○			
	56	該当帳票がで出力できること	○		No.20 利用者宛ラベル No.21 金融機関宛ラベル ※レイアウトは契約後に協議するものとする		
	57	指定金融機関の営業日を判断するためのカレンダーの管理ができること。	○				
	58	システム上の年度、期、月などを管理できること。	○				
	59	指定金融機関の合併などに伴う、指定金融機関コード支店コードの一括変更ができること、または運用保守費の範囲内で対応が可能であること。	○				
	60	指定年を経過したデータ（完済、否決、取下げなど）を削除できること。	○				
61	指定年を経過したなどの不要なデータを一括削除できること。		○				
62	システム切替等によりデータ抽出が必要となった場合に対応できること		○	3回程度を想定すること			
7. ユーザ管理業務	63	IDとパスワードを設定により、システム上のデータを取り扱える利用者を制限できること。	○				
	64	利用者IDとパスワードの、追加・修正・削除ができること。	○				